

朴 珠 抄

能村研三推薦

薑をたつぶり漬けて国愛す
青藍の富士立ち上がる秋の朝
大夕焼移らふものは濃く淡く
振り向きて空耳と知る夕花野
八月は祈りの月や祈りをり
遠泳の泳ぎ始むる深さかな
夕かなかな笑つてしまふほど孤独
衰ふることを怖れず黒ダリア
くるぶしに山河ありけり水の秋
昆布刈海の重さも背負ひけり
ちちははに丈夫を貰ふ秋彼岸
わが影のわれより若し盆踊
この星をはつしと叩く西瓜割
夏木立V字に開く道の先
上げきつて下げる半旗や敗戦忌

甲州 千草
平松 うさぎ
栗坪 和子
栗原 公子
荒井 千佐代
広渡 敬雄
能美 茅柴
大川 ゆかり
兵藤 恵
須賀 ゆかり
大橋 松枝
川高 郷之助
矢野 隆男
五十嵐 章子
稗田 寿明